



UNIVERSITY OF PITTSBURGH  
JAPAN DOCUMENTARY FILM AWARD 2022

東京ドキュメンタリー映画祭 2022

ニッポンコネクション  
Japanese Film Festival 2023

the PORTO FEMME  
INTERNATIONAL FILM FESTIVAL

JAPANNAL 2023

*Heart to  
go back my  
real life*

第97回  
キネマ旬報  
ベスト・テン  
文化映画部門  
5位

マエルストロム  
**Maelstrom**

監督・撮影・編集・ナレーション：山岡 瑞子  
撮影：本田 広大・平野 浩一・高橋 朋子 音楽：オシダアヤ  
配給・宣伝協力：ムービー・アクト・プロジェクト  
2022年 / カラー / HD / 日本 / 79分  
<https://maelstromfilm.com/>

2002年、ニューヨークの美大を卒業したばかりの“私”は、突然事故に遭う。大混乱の日々の中で、再生してゆく姿を見つめた“魂のセルフ・ポートレート”。



# マエルストロム この大混乱に 終わりは来るのだ ろうか？

こんな体、こんな未来

たくさんの健常者を乗せた大きな船が  
自由に行き交うのに  
私は未だに手漕ぎのボートで  
どこへ向かって良いのかわからずに漂っている

「Maelstrom」が観る者を圧倒するのは、監督の山岡瑞子が、自分にとって痛切極まりない、身を切られるような問題を真摯に描いているからにほかならない。

ただし山岡の場合、作家として何かテーマを探していて、そういう痛切な題材に巡り合ったというわけではない。それは突然、自身の身に降りかかった。脊髄損傷という大怪我をするという事故が。

そして山岡は、事故からかなりの年月が経ってから、自分が生きてきた激烈な時間、maelstrom（大渦巻き）を作品に昇華させることを選んだ。いや、選んだというよりは、そうせざるをえない強い内的衝動に駆られたのであろう。その内容は徹底的に個人的、パーソナルである。しかしパーソナルな井戸をひたすら深く掘っていくと、しばしば普遍の水脈にたどり着くものだ。「Maelstrom」では、それが起きている。

想田和弘  
(映画作家)

大きな渦にのみこまれた表現者が最も個人的なテーマに挑み、もがき苦しみながら撮りあげた唯一無二の映画。

自分とは、人間とは、人生とは。ひたすら真摯に考え続ける表現者は、街に出て、人に会う。その姿に圧倒され、自分だったらどう生きるかと考えずにはいられない。

早川千絵  
(映画監督)

2002年6月のはじめ、NYにある美大を卒業し、あと一年間滞在予定だった留学生が銀行に向かう途中、交通事故に遭う。突然、それまでの日常を失い、それまでの時間が存在しない場に戻った時、何がその人らしさを繋ぎ止めるのか——。当事者になった“私”は、大混乱の中、変わってしまった日常の記録を始める。事故前の自分と繋がり直し、探している場所に辿り着けることを祈りながら——。

[2022年/カラー/HD/日本/79分]  
@Mizzy Films <https://maelstromfilm.com>



2024  
5/10 (金) より公開

館内ギャラリーにて同時開催予定  
Artworks from the Documentary film “Maelstrom” by MIZUKO YAMAOKA  
～ドキュメンタリー映画『Maelstrom マエルストロム』の山岡瑞子のアート・ワークス～

UPLINK 吉祥寺

吉祥寺 PARCO B2F  
0422-66-5042 [joji.uplink.co.jp](http://joji.uplink.co.jp)